

4 . 千代田堰堤魚道構造図

千代田堰堤は、昭和 10 年に完成した最大取水量 2.912m³/s の農業用水取水を目的とする堰である

昭和 50 年 8 月洪水で、堰の直下流の河床が異常洗掘を受け一部倒壊に至ったため農業用施設災害復旧事業として採択を受け、副堤工事を行うとともに、道サケ・マスふ化場より「朔河性の魚類が遡上できなくなるため、水産資源保護のため朔河性魚族の通路の確保」「護床工の間に入った親魚の捕獲作業（曳網）ができなくなり無為に消散する。このため親魚を上流に遡上させ、捕獲をし資源の有効な利用をはかる必要がある。」とする要請を受け、堰堤の右岸に魚道が設置された。

既設魚道の概要を表 4 - 1 に示す。

表 4 - 1 既設魚道の概要

項 目	諸 元	備 考	
魚道タイプ	階段式魚道		
総延長	約 3 8 m		
プ ル 部	幅	3 m	切欠き部及び潜孔部 を有する。
	長さ	1 . 5 m	
	落差	0 . 3 m	
	勾配	1 / 5	

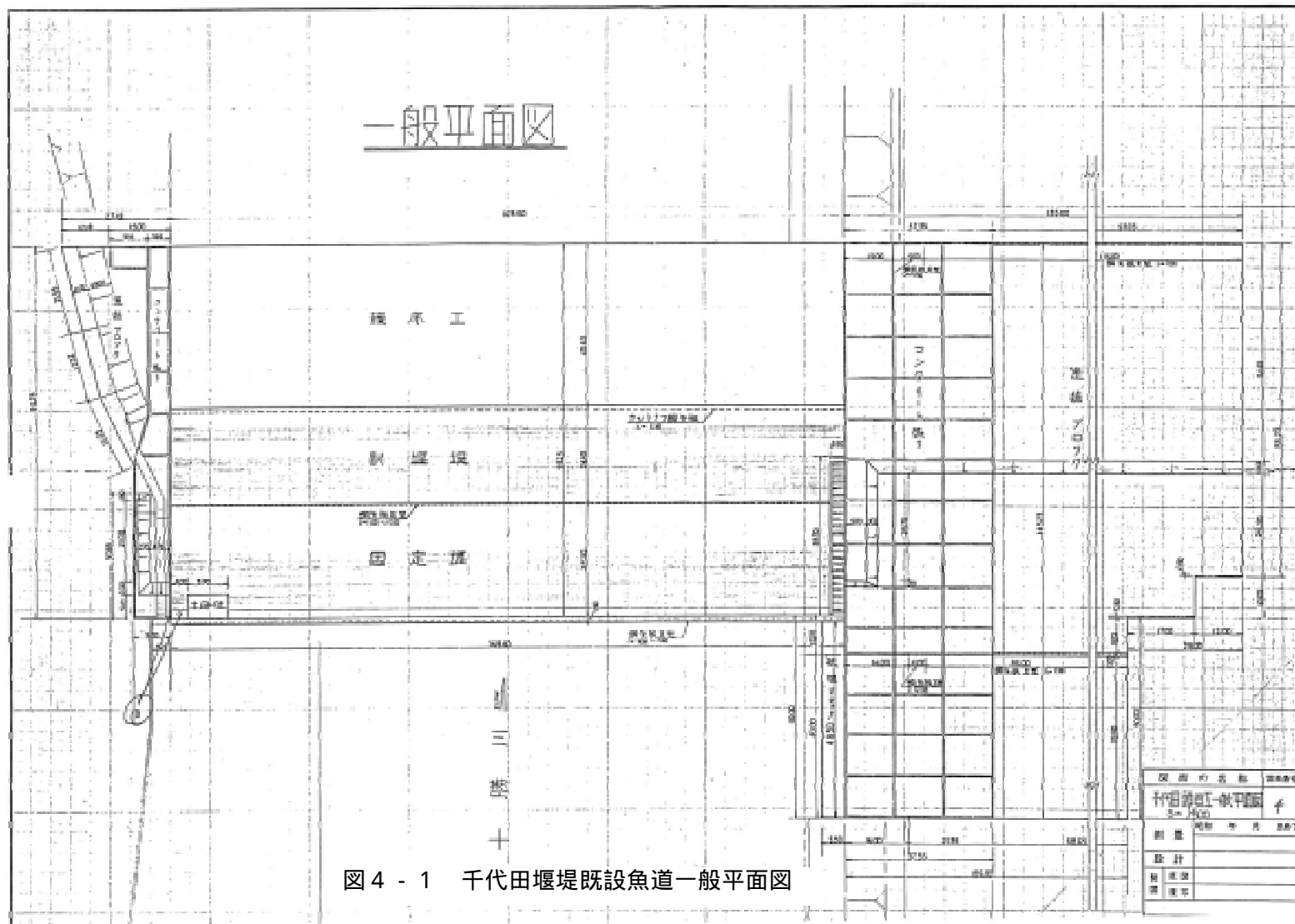


図4 - 1 千代田堰堤既設魚道一般平面図

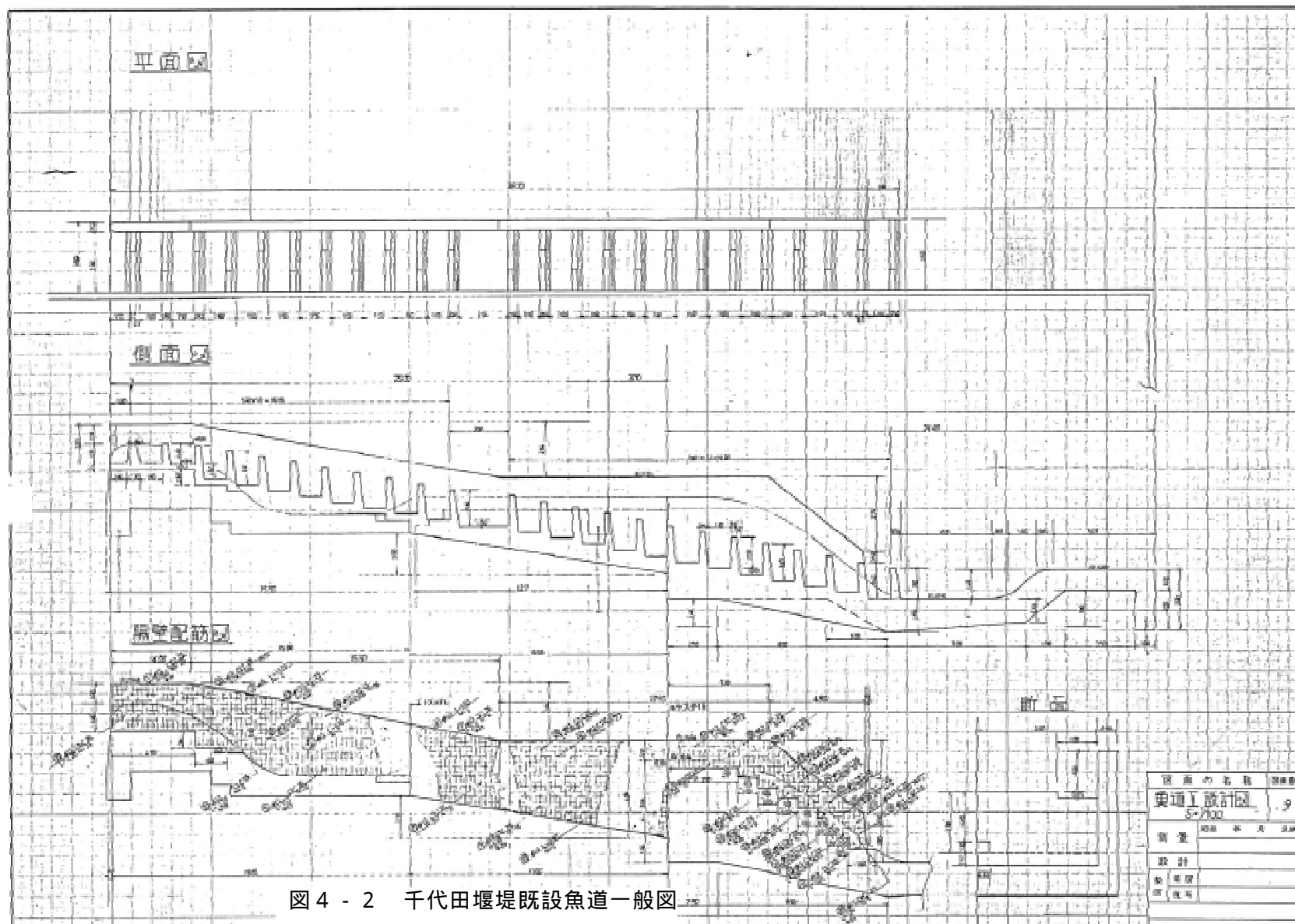


図 4 - 2 千代田堰堤既設魚道一般図